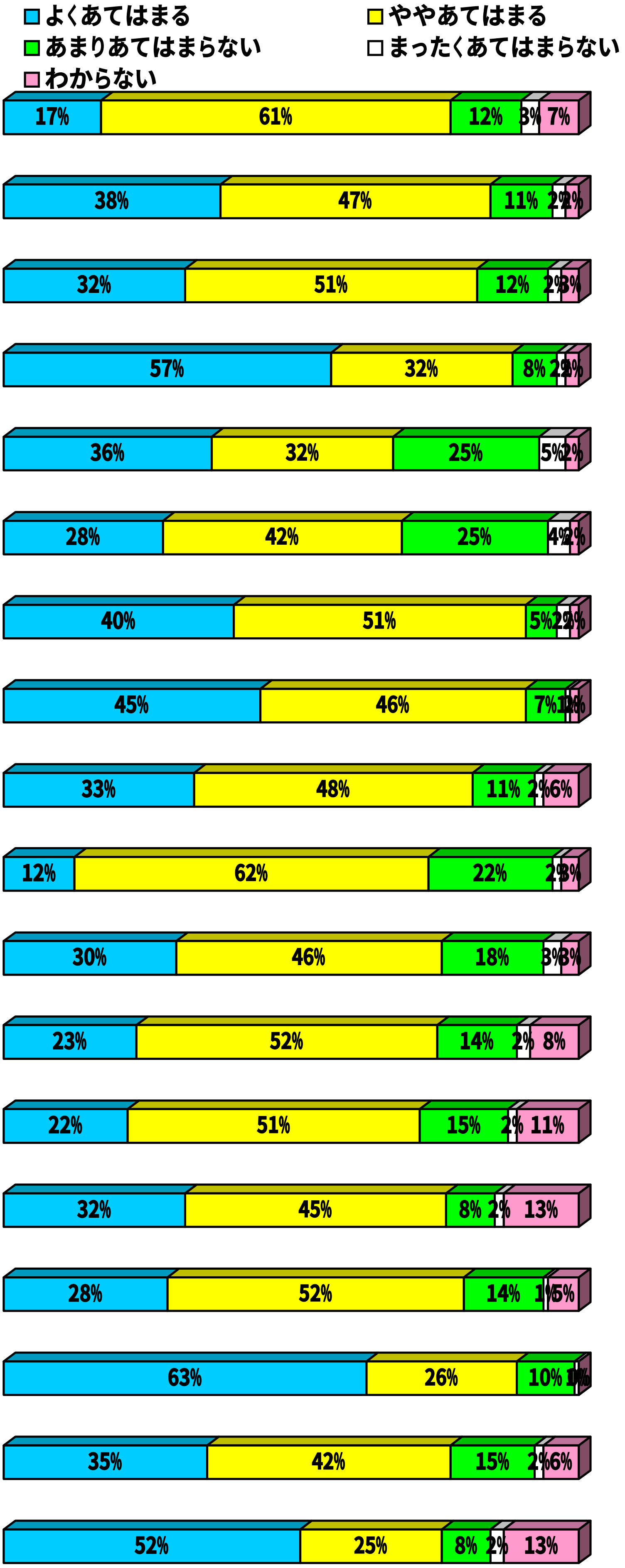
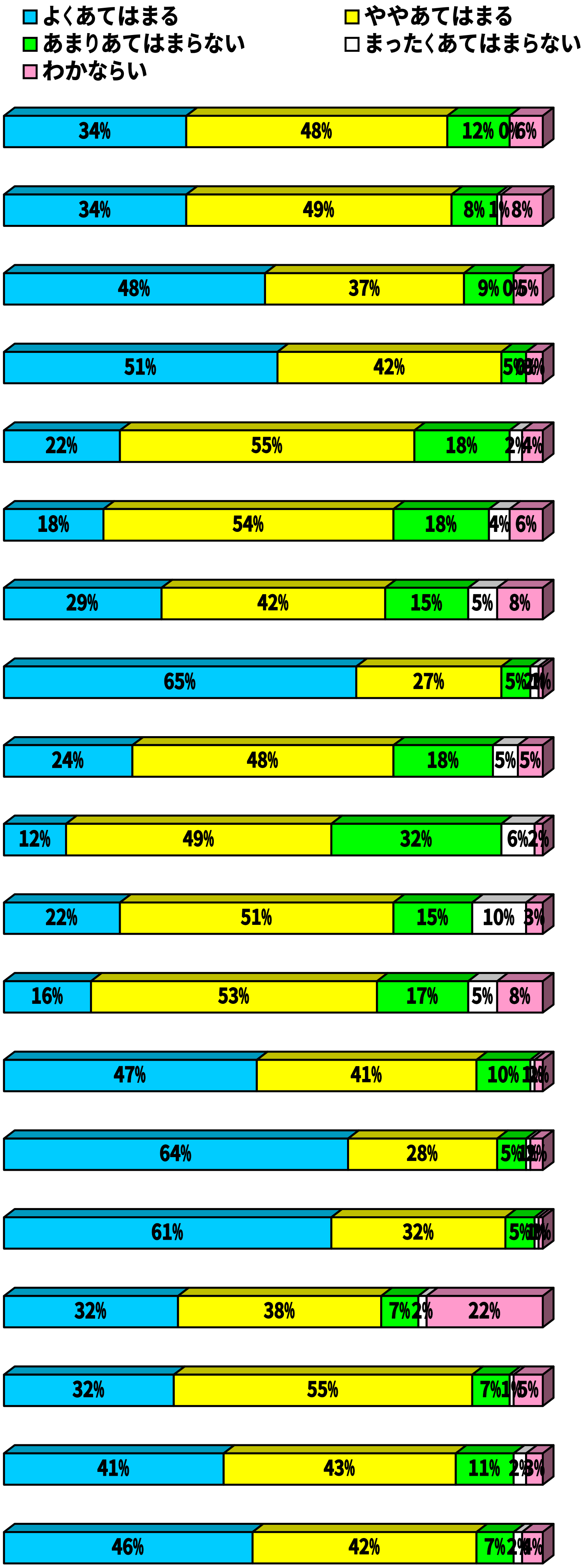
平成１９年度岐阜県立大垣工業高等学校 全日制課程　外部評価（生徒）　集計結果

	通番	項目
教育方針・学校経営	1	本校の教育方針や指導目標を分かりやすく説明を受けている。
	2	本校の教育方針や指導目標等に賛成であり、本校を選んで良かったと思っている。
	3	本校では、一人一人の良さや可能性を伸ばすことに努めている。
	4	本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身につけさせようと努めている。
家庭との連携	5	本校からの連絡文書等は、保護者に確実に届けている。
	6	家庭で学校に関する話をしている。
教職員	7	本校の先生は、熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる。
	8	本校の先生は、専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる。
	9	本校の先生は、悩みや相談事に親切に対応してくれる。
学習指導	10	本校の先生は、授業の教え方や説明が分かりやすい。
	11	本校では、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。
	12	本校の先生は、補習等を通じて一人一人の能力に応じた指導を行っている。
	13	本校では、個人の興味・関心、希望にあった選択授業や少人数授業を行っている。
	14	課題研究の時間に研究している内容は自分にとって有意義である。
生徒指導	15	本校では、生徒のことをよく理解して、一人一人にあった生徒指導をしている。
	16	本校では、高校生としてのマナーを身に付けさせることや、社会のルールを守ること、ふさわしい服装、頭髪等の指導を徹底している。
	17	本校では、いじめを許さず、厳しく対応している。
	18	本校では、体罰はない。



		通番	項目
進路指導		19	本校では、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。
		20	本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている。
安全指導 健康管理		21	本校では、生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止など安全指導をしている。
		22	本校では、地震や台風などの場合の対応についての対策マニュアルを示し、説明している。
学校行事等		23	本校では、外部講師の講演や様々な体験活動など授業以外の学習の機会が多い。
		24	本校のロングﾎｰﾑﾙｰﾑの時間は、今後の自分にとって意義のある内容になっている。
		25	本校の学校行事（文化祭・運動会など）は、充実している。
		26	本校では、部活動が活発に行われている。
		27	本校では、生徒会活動は活発である。
		28	本校では、清掃が行き届いており校内がきれいである。
		29	本校の施設・設備は、学習環境の面ではほぼ満足できる。
		30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。
学校独自項目	A	31	本校では、授業（実習・課題研究）や特別活動などを通じて、安全に心がけることに努めている。
		32	本校では、資格取得のための補習などをしてくれる。
		33	本校で学習することにより、工業の専門的な知識・技術が身につく。
	B	34	本校のホームページをみると学校の行事予定などがわかる。
		35	本校の学習に関する規則は、よい学校生活を送るためには適切な内容である。
		36	本校の生徒指導に関する規則は、よい学校生活を送るためには適切な内容である。
		37	本校は、部活動等を通じて集団生活における心身の発達を目指している。



［まとめ］

・今年度は各クラス5名（1年8クラス、2年9クラス、3年9クラス）計１３０名の生徒を対象に実施した。

・生徒指導、進路指導、健康管理･安全指導ではどの項目も8割以上の生徒が”よくあてはまる”、”ややあてはまる”と回答している。

・家庭との連携では、本校から保護者への文書は7割の生徒は確実に渡しているが3割の生徒は連絡文書が保護者へ渡っていない現状である。また、ほぼ同数の生徒が家庭で学校の話をしていないと答えている。

・高校生としてのモラルやマナーの指導は日々本校で実施されていると生徒も感じている。

・授業だけでなく、資格取得に向けた補習指導なども積極的に実施されており、9割以上の生徒が専門的な知識や技術が身に付くと感じている。

・本校の環境美化に対する意識が低く、4割近い生徒が清掃が行き届いてないと感じている。

・本校のホームページは在校生が見る機会が少なく、ホームページから情報提供していることも知らない生徒が3割近くいる。

これらをふまえて

＊ 生徒が「家庭との連携」の橋渡し役になっていない状況から、直接保護者に情報を提供する方策を早急に検討する必要がある。

＊ 校内の清掃については、多くの生徒が行き届いていないとの自覚を持っているが、ゴミのポイ捨てなど自らきれいにしようという意識がまだ薄いようであり、早急に全校あげて環境美化活動に取り組む必要がある。

＊ 保護者に比べて生徒のホームページ活用が少ないようである。生徒の要望を調査し、必要な情報提供の改善とＰＲを実施していく必要がある。